

算数・数学の授業づくり

六月二十日に東支部教育会館で行われた今回の教研には、小中学校の教職員や教育実習生など、十五名ほどが参加しました。今回の講師は、数学教育協議会の岩村繁夫先生。地元・町田でも、楽しくわかりやすい算数サークルを開いていらつしやいます。

岩村先生は、今の小学校算数について、もつと学習内容をしぼり、子どもがきちんと理解できるように、十分に時間を使うべきだとお話しされていました。「一年生の『なかまづくりとかず』では、まず、一く九で区切って教えたい。十は子どもにとって難しいもの。」

「時刻というのは、午前0時からどれだけ時間が経ったかということ。そういう意味では、時間から教えたい。それにしても、時間や時刻は低学年の子どもたちにとっては難しい。三種類の針によって、目盛りの読み方が違うのだから。」

「四年生のわり算の筆算では、かけ算とひき算の筆算ができているかが問われる。」

「五年生の小数のわり算では、問題を作らせる。商が小数になるものとならないもの、つまり分離量と連続量の区別をつけさせる。」

など、算数の本質と今の算数教育の難しさや矛盾点をお話ししてくださいました。



また、参加者による今の現場についての議論も活発に行われ、中学校の先生からは、「小学校のうちに、『右と左が等しい大きさ』というイコールの意味を理解できずに中学

に来る子が多い。だから、方程式などで、途中式を書けない子が多い。」などの声もありました。子どもたちにはわかりやすく。そのためには、教科の研究が必要だと感じました。



次は

シリーズ「教科書と学力」拡大版

みんなで考えよう！教科書問題と学力

第1部 全体講演「教科書、何が変わるの？」

—子どもにとってよい教科書とは—

講師：石山久男さん（歴史教育者協議会元委員長）

第2部 分科会 A「子どもたちと憲法を考えよう」

レポーター：坂爪邦雄さん（東久留米市立中学校教員）

村田紀代美さん（武蔵野市立小学校教員）

分科会 B「学級の中の特別支援」

みんなで語ろう

日時：8月23日(土) 13:00～17:00

場所：北多摩東教育センター(JR 東小金井駅南口徒歩3分)

夏休み!分会学習会を!

忙しい毎日を過ごしてなかなか話せなかった職場のこと、授業のこと、悩んでいること…夏休みはじっくり語り合えるチャンスです。お茶会や食事会を兼ねての学習会もおすすめです。



★学習会に取り組んだ分会は援助金申請を!

後日**5000円**（宿泊は**8000円**）が渡されます。

女性部主催

夏の民舞・リズム講座

日時：7月20日(日)9:15～受付

会場：小金井第二小学校 体育館

(武蔵小金井駅北口15分)

講師：CHUさん 井上良江さん 木下淑江さん

※体育館履きをご用意ください。

ヒップホップダンス 午前「HANDS UP」低学年向き
午後「CONTINUE」高学年向き

低学年～中学年向き（午前～午後）

- ・アンピナー
- ・唐船ドリー
- ・南獄節（なんたきぶし）

高学年向き（午前） ・南中ソーラン
低学年向き（午後） ・チャーピラサイ

★中学校体育のダンスの授業にも使えます!

参加無料

昨年と違って
います

ちょっと9の日行動

日本国憲法の絵本を机の上に置き、人目につくようにしている。

お忘れなく!

対話援助金申請は

7月11日までに
都教組本部必着です。